

丸山湿原群保全の会会報

(第 215 号)

発行日：2025 年 (R7) 6 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax 0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

大きな話になりますが・・・また新たに戦争が始まってしまいました。「大きな話？」ではないか。切実な話。イスラエルがイランに戦争を仕掛けた。当然イランは報復。人類はいったいどこへ行こうとしているのでしょうか？ロシアしかり。方やトランプ関税であたふたしている国が多数。トランプさんは戦争でもなんでも「ディールディール」お金の問題にすり替えているような気がします。「シン・ニューディール政策」か？戦争が起こっていようが、人が死んでいようが経済活動は重要。軍事経済活動も花盛り。関連企業は大儲け。少し前なら「死の商人」とまで言われていたのに。今はまるで「平和の使者」扱い。それぞれの「正義」と「平和」のために使うのですからある意味「平和利用」か？

戦争で使われるエネルギーはいったいどの位になるのでしょうか？燃費は？戦闘機の燃費なんて聞いたことも無いですね。でもセールスの世界ではあるのでしょうか。航続距離は重要ですから。

ミサイルが1発都市に落ちたら大騒ぎ。死者も出る。無駄なので山を狙っては打ち込まないでしょうが、もし丸山湿原に落ちたら・・・騒ぎにはなっても「良かった～」となるでしょう。当然です。生物多様性の損失は話題にもならない。ミサイルでなくても道路建設でも同じ。なぜでしょうか？国宝や世界遺産が狙われたら？

結局「人の命は地球より重い」と言うような発想が今もどこかにあるのでしょうか。（あくまで根本的な問題として、理屈は通りませんが・・・確かに人の命はかけがえのないものです）

どんな状況（戦争・平和）の中でも人の暮らしはあり、苦しいながらも笑いや遊び、安らぎはあるに違いありません。でもその陰で犠牲になっている「もの」にも心を向けたいものです。そうすれば平和な社会が実現できるかもしれません。（甘ちゃんの意見です）

(今住 6 月 15 日作成)

保育園がやってきた ★5 月 16 日 (金) やまぼうし保育園分園 19 日 (月) はなみずき保育園本園 29 日 (木) はなみずき保育園分園 6 月 7 日 (土) やまぼうし保育園本園親子遠足

恒例となってきました「社会福祉法人萬年青友の会」運営保育園の自然体験。今年からは「そら



新品の長靴 ちょっと自慢 活用しましょう

とはな保育園」も参入。「そらとはな保育園」は旧宝塚ホテルの跡地のタワマンに入った保育園。「最上階」にあるのかと思っていたら、マンション正面の「阪急オアシス」の上 (2 階?) に入った出来立てほやほやの保育園です。タワマンにある保育園って想像つきませんが、ちゃんと園庭も完備された認定保育園です。まだ年長さんが少ないのか、今回はやまぼうし分園と合同で来てくれました。オレンジ色のキャップが「そらとはな」、紫がやまぼうし分園です。

来る側は初めてですが、迎える側は何度も実施しているので「また同じような内容だったらつまらない?」「新しいことを」と思ってしまう。ついつい過激な内容になってしまうことを反省しつつ今年度のスタート!

バスに乗って到着。園児が降りてきます。何か不安そうに・・・「知らんおっちゃん(爺さん)おばちゃん(婆さん)がおる?」てな感じです。ここでアイスブレーキング! バカ話をしながら、危険やはぐれた場合の対処法を伝授!

大きい声は出すことに慣れていないと出せないもの。無駄にでかい声の人もいて嫌がられることもあります。練習! みんな揃ってできる限りの大きな声で「たすけて〜! たすけて〜!」を連呼。周辺の山々に響き渡りました。準備はOK。いざしゅっぱーつ!

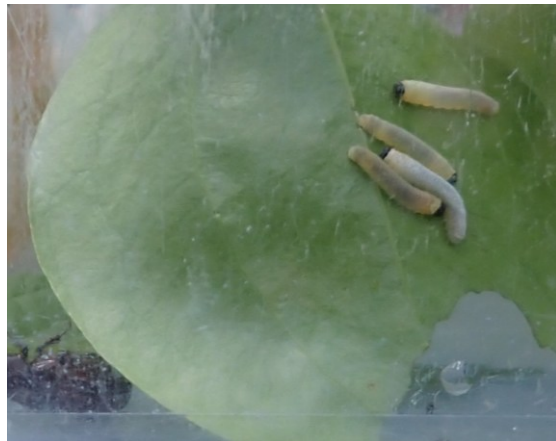
入口でどこにもでもある**ドクダミ(藪)**の匂いを嗅ぎ「くっさ〜」。次に例の食べられる葉っぱ**カンサリスノキ(関西酢の木)**を食べ「すっぱ〜」。やはりスノキは人気が高く、いつまでも食べている。そして川。カニ捕りのスタート。まだ水温が低いせいかなかなか見つかりません。石をめくっていきます。クモ(ハシリグモ?)や魚を見つけても「わっ! 魚!」純粹ですね〜。とにかく捕まえた生き物は虫かごに。**サルトリイバラ(猿捕茨)**に芋虫がいた。こちら虫かごに。サルトリイバラを食べる虫といえばルリタテハ?と思っていたのですが、トゲトゲの毛虫ではない。調べてみると**トガリハチガタハバチ(尖蜂形葉蜂)**の幼虫と判明。ハ



園児の野生化は進む 許して!



かっこいいカニの持ち方伝授 足もう一本・・・



トガリハチガタハバチの幼虫

かけて湿原まで向かう園。植物にあまり関心が無く、激しい動きを期待する園、と様々。なかなか予定通りには行かない。時間不足で引き返す、または時間が余って周遊コースを追加など、各園の興味に合わせて臨機応変に予定変更。額に汗かくタジタジの自然体験第1回目でした。共通して言えるのは虫を嫌がらない事。この子たちが慣れているのか、それともこのぐらいの子ども達はみんな虫が好きなのか?いつも考えさせられることです。大きくなると虫から引き離される?大人は殺虫剤好きやもんね。それにしても、山に入る前と帰ってきた時の表情の違いには驚かされます。「癒し?」ではなく何か自信のようなものが身に着くようです。なんかよ〜分かりませんが、今見直されている「非認知能力」とやらかも知れません。

チなんですアシナガバチに擬態した、毒針を持たないハチらしい。なんかややこしいですが「一見刺すハチに見えるが刺さないハチ」のようです。葉を食べるハチの幼虫というのも面白い。ビーガン?成虫は肉食で昆虫を食べるそうです。へ〜! 勉強になりました。

園児に感謝。

同じ宝塚市の市街地にある保育園ですが、少しずつ個性が違うのも面白い。植物に興味を持ち時間を



シロシタホタルガ幼虫も手に載せて

最後にやってきた「やまぼうし保育園親子遠足」。本園の年長さんは人数が多く、園バスでは定員オーバー。そこで園長企画の「親子遠足」を土曜日に実施。インスタグラムで保護者に呼びかけ



親子遠足では駐車場で十分楽しんでまし

てくれたことが功を奏したのか、なんと40名の参加。園バス1台、自家用車11台のエコツアー。

最初気づかなかったのですが、自家用車から降りてきた児童がニコニコ笑いながら話しかけてきます。??? 「えらい人懐っこい子やな～」と思っていたら、見覚えが…インスタグラムで見た「分園」や「はなみずき」からも参加があったのです。つい先日来た子が再び。しかも「今日も酸っぱい葉っぱ食べられますか?」の問いかけも。いつの間にか「野生化」しとる。保護者に申し訳ないかも。これも「非認知能力」なのか? 「大丈夫、今日も食べられるよ」と言っている自分にもあきれますが…



見つけたハッチョウトンボ ポケ写真



水の上を走るハシリグモの仲間 咬まれました

危険やはぐれた場合の対処法も、この子たちが見本を見せてくれました。大人が声出してこないのには不満…保護者がいてもいつもと同じくワイルドでした。川はもちろん保護者も一緒に。葉っぱ食べるの完全拒否の保護者もありましたが一緒に遊んでくれました。「やめなさい」とか「危ない」とかの声が聞こえないのが素晴らしい。言わなければならないときも当然ありますが許容の範囲がおおらか。ハッチョウトンボ（ハ丁蜻蛉）もオス1頭（匹）だけ何とか出てきてくれました。今年はトンボの発生も遅いような。それとも総数が減ってきているのでしょうか。雨が年々少なくなっているような気がしてなりません。乾燥化が進むのでしょうか。こればかりはまさしく神頼み！年数回の保育園シリーズ。今後も野生化目指して頑張りましょう！嫌やろか？

西谷小学校環境学習 ★初回 座学 6月2（月） 3年4年複式学級 11名

今年度から完全複式学級になった宝塚市立西谷小学校。児童が少ないのは悪いことばかりではありません。全員が自由にしゃべっても十分聞き取りができます。全員の表情が見渡せます。先生は多少の戸惑いはあったでしょうが、昨年?から研究してきたはず。35人のクラスと11人の学年合同クラス、本当はどちらがいいのでしょうか。今年度からは宝塚全市から西谷小中学校に通える特認制度が導入されました。早速入学者もあったとか。個性豊かな学校になってほしいものです。

さて県・市の天然記念物「丸山湿原群」を活用した環境学習。第1回目は事前学習。座学です。毎年このスタイルを実施していますが、最近は「丸山湿原」にこだわらず、身近にある自然の「生物多様性」についてレクチャーしています。意外に身近にいる絶滅危惧種や特定外来種を知らないのが現状。丸山湿原に棲むものは実は自宅の裏山や、田んぼ、庭にも居ることに気づいてほしいと



身近にいるコオイムシの誕生シーンに力が入る

考えています。しかも不思議で奇妙な世界。それが繋がりあって生態系を作っている。当たり前の話ですが、話すとき難しいので主に画像中心で感じたことを語り合いました。

特定外来生物=生きたままで動かし、飼ったりしてはいけない



条件付き特定外来種生物=アメリカザリガニ・アカミミガメ(ミドリガメ)

特定外来生物の説明スライド ウシガエル 足は美味そう 役刑については知らないようですが。昨年話した内容を覚えていてくれたのかも。条件付き特定外来生物(アメリカザリガニ・アカミミガメ)の説明も。西谷の生態系を守るため、理解してね。フィールド学習は6月16日(月)1回目。報告は次回。

定期活動 ★基礎調査 6月14(土) 雨中3名で活動 午後総会

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
丸山	88	104	入口	10:09	23.5℃		
ハイキング・登山	75	94	第3湿原	10:50	【19.7℃】	22.8 μ S/cm	6.9
散歩	38	20	視点場	11:15	25.8℃	23.8 μ S/cm	6.2
			第1湿原	11:30	【22.2℃】	23.1 μ S/cm	6.4
			第2湿原	12:18	【21.5℃】	23.6 μ S/cm	6.3

来場者数計 419 人

(竹筒ポスト集計)

雨ですが小降りになりそうなので実施。参加者は3名。雨ならではの景色もあります。濡れながら楽しんできました。今年は大体なんでも1週間の遅れ。最初の第3湿原最下流(測定場所)では



雨がよく似合うノハナショウブ

ノハナショウブ(野花菖蒲)が開花。1番花です。株立ちの雰囲気ですが、消える可能性も。西側の谷からシルト?

砂が流れ込んでいて、出水部分を狭くしています。水が溜まりやすい環境。大水で刻々と変化はしますが今の状態はいいと思われます。トキソウ(朱鷺草)も終盤ですが咲いていました。

コバノトンボソウも咲く時期ですが遅れているようです。カキラン(柿蘭)は一部開花。年々

増えているように感じていましたが、咲くまで気づかないのが野の花。ひょっとして消えているかもかもしれません。ササユリ(笹百合)は西谷周辺で結構咲いているようですが、丸山ではわずかに確認できるだけでした。

ネジキ(振木)、ウメモドキ(梅擬)も最盛期。木本類の花が多い。ただ、ハッチョウトンボをはじめ、昆虫類が少ないのが気になります。これからなのか、激減か?もうしばらく待ちましょう。午後の総会連絡は次号で。

そうそう、ツチアケビ(土木通)がなぜか一本立ちに。誰か踏んだ?それとも剪定した?こんなことがよく起こる…。自然現象でしょう?



トキソウ終盤



カキラン 柿色です

次回活動日 6月22日(日) 7月12日(土) 27日(日)